

# 今後の周知啓発活動の進め方について

---

国土交通省海事局  
安全政策課



ライフジャケットの着用率向上を図るためには、

効果的な周知啓発活動を行うことにより、

個人の安全意識を向上させることが極めて重要

# 安全意識の向上を妨げる要因

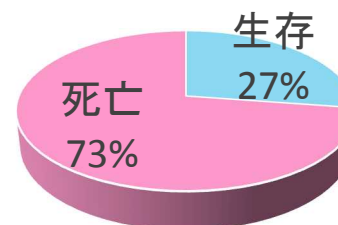
自分が落ちるとは思わない

(当事者意識の希薄さ)

落ちるとどうなるのかを理解・想像していない

(危険に対する感性不足)

全隻数	事故隻数	事故に遭う確率
約53万隻	約2千隻	0.4%



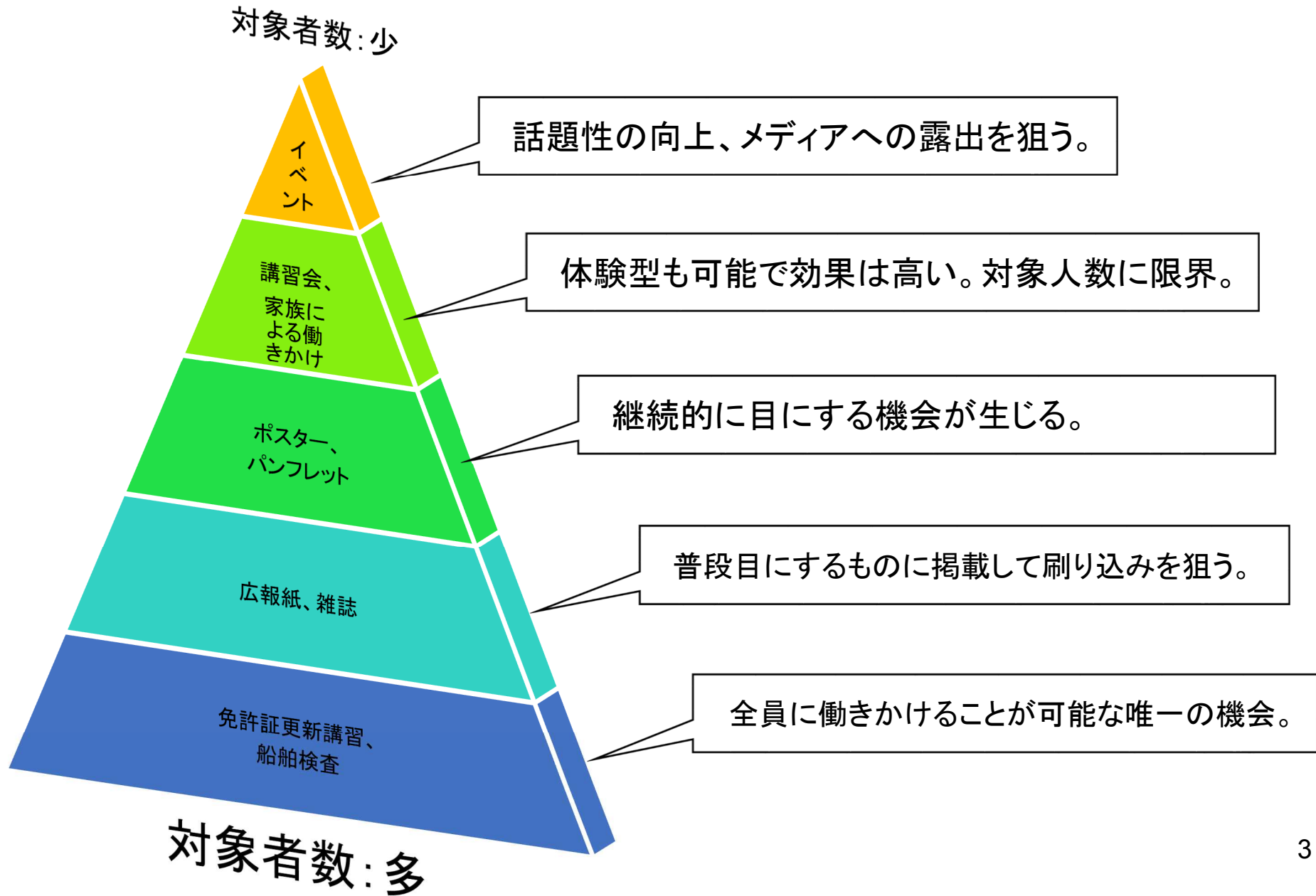
非着用時の死亡率

賠償

救助・捜索

家族の悲しみ

これらを覆すための地道な意識改革が必要不可欠



## 今後の周知啓発活動の進め方

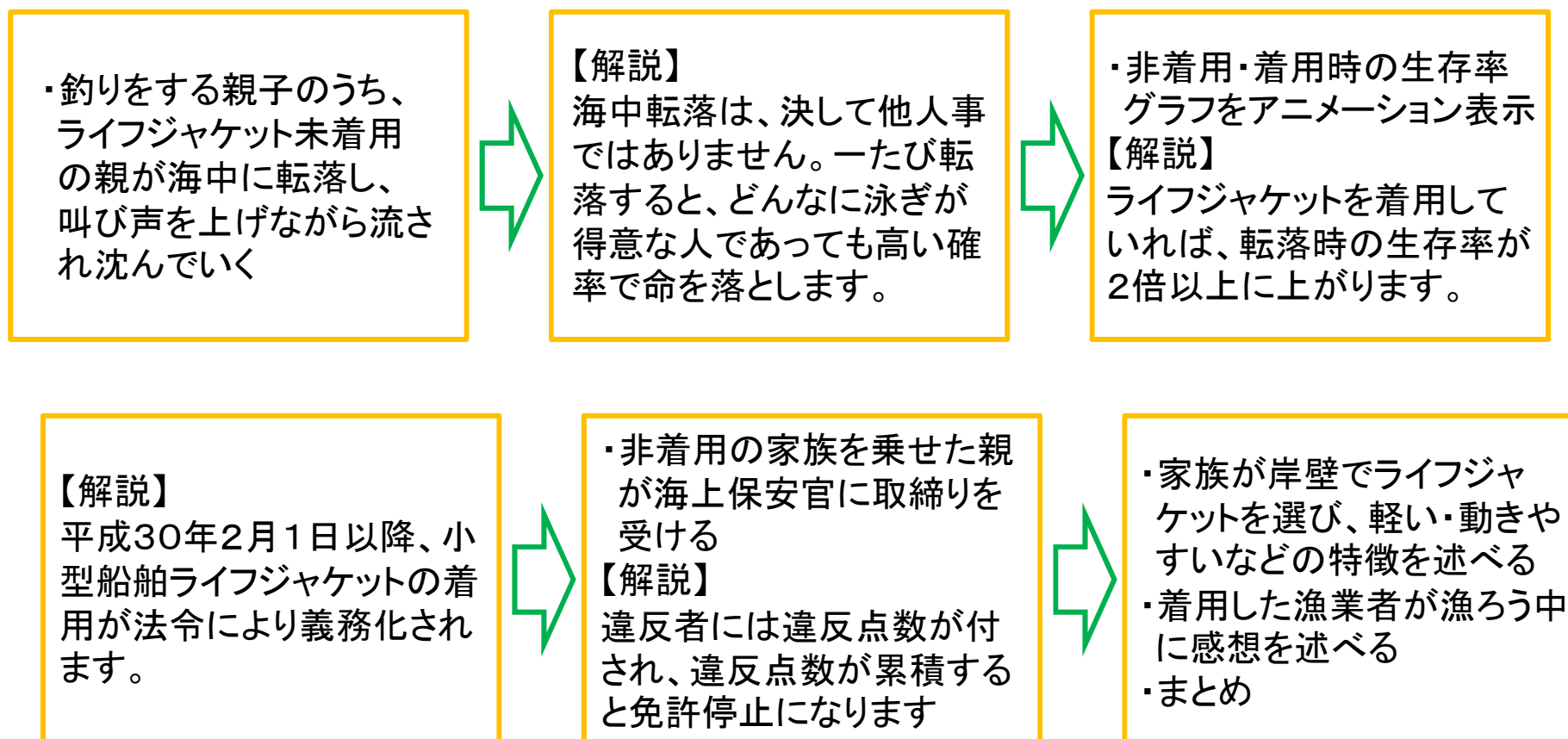
- 関係機関、関係団体は、密に連携し、あらゆる機会を通じて周知啓発活動を行うことにより、個人の安全意識の向上を図る。
- 関係機関、関係団体による具体的な周知啓発活動の予定を「ライフジャケット着用推進プログラム(今後の周知啓発活動のスケジュール)」としてとりまとめ、いつ誰が何を行うのかを明確化する。
- 国土交通省と水産庁は、ライフジャケットの着用率の推移を定期的に確認し、周知啓発活動のフォローアップを行う。

参考：今後の具体的な取組み

# 周知啓発用ビデオの製作

平成29年度に周知啓発用のビデオを製作し、ホームページに掲載するとともに、関係機関、関係団体における講習会等での使用を促す

## ビデオの構成イメージ



## 標語・写真等の募集

### 内容:

ライフジャケットの着用促進に関する標語や、ライフジャケットに関係する写真・動画を広く募集し、優秀な作品を表彰する(賞品等も別途検討)

### 狙い:

募集により世間の関心を高めるとともに、イベントにおいて表彰を行うことにより、メディアへの露出を狙う



### (例) 写真募集

- スマートフォンから気軽に応募
- SNSを通じた拡散



## 講習会、家族による働きかけ

### 講習会、訪船指導、家族による働きかけ等の推進

ライフジャケットの着用を推進するための取組みを継続して行うとともに、国、都道府県、関係団体の中で、利用可能なデータ、教材、資材等を共有する(ビデオやリーフレットなど共有可能なデータを国交省ホームページに掲載)

#### 国による取組みの例

- 海難防止講習会(海上保安庁)
- 漁業カイゼン講習会(水産庁)
- ライフジャケット着用推進員(LGL/ライフガードレディース)の指定(海上保安庁)
- ライフジャケット着用推進モデルマリーナ・漁協の指定(海上保安庁)
- 遊漁船業者等を対象とした安全講習会(水産庁)
- 小型船舶に対する安全キャンペーン(水産庁、海上保安庁、警察、海事局等)

## 免許保有者への刷り込み運動

### 免許保有者への刷り込み

取組: 国、都道府県、関係団体が免許保有者に対して発行するあらゆる書面・広報紙・チラシ・封筒に着用を促すロゴを印刷する

狙い: 普段目にするものによる刷り込み



### 関係者への刷り込み

取組: 国、都道府県、関係団体における内部書類、名刺、メール署名などにロゴを付ける(ミニボート関係のメーカー、販売店等への働きかけも行う)

狙い: 免許保有者に接する関係者の安全意識を向上させる



## 免許証更新講習における取組み

### 考え方

免許証更新講習は、免許保有者全員に働きかけることができる極めて重要な機会である

海中転落の恐ろしさが最大限伝わるような、心に訴えかける内容の講習とすることを検討

- 講習用ビデオに「海中転落の恐怖を認識させる映像」を入れることを検討

例：ライフジャケットを着けずに海中転落して溺れる映像、家族を亡くした人へのインタビュー映像

- 講習用テキストに「海中転落の恐怖を認識させる写真」「家族を亡くした人の声」を入れることを検討

- 啓発パンフレットの配布

## 船舶検査における取組み

### 考え方

船舶検査は、受検者に働きかけることができる極めて重要な機会である

船舶検査を行う機会に、ライフジャケットのメンテナンスの重要性を周知する

- 船舶検査の際に、膨張式ライフジャケットのメンテナンスの重要性を周知する
- 「ライフジャケットメンテナンスガイド」の配布
- 啓発パンフレットの配布

メンテナンス不足により膨らまない膨張式ライフジャケットの撲滅を目指す